

①申請書の記入例

令和 年 月 日

那 覇 市 長 宛

団体所在地 **那覇市〇〇 〇-〇-〇 〇〇ビル〇〇号**

団体名称 **那覇〇〇〇〇会**

代表者職氏名 **会長 那 覇 太 郎**

担当者氏名 **真和志 太郎**

電話番号 **〇〇〇 - 〇〇〇〇**



※ **A**

那覇市地域福祉基金事業補助金交付申請書

みだしのことについて、下記の事業を実施したいので、補助金を交付して下さるよう関係書類を添えて申請します。

記

1 事業名 **福祉ボランティア養成事業**

2 交付申請額 金 **5 0 0 , 0 0 0** 円 ※ **B**

- 3 添付書類 (1) 那覇市地域福祉基金事業補助金交付事業計画書（別紙1）
- (2) 那覇市地域福祉基金事業補助金交付事業収支予算書（別紙2）
- (3) 団体の当該年度事業計画書
- (4) 団体の当該年度収支予算（見込）書
- (5) 団体の前年度収支予算決算書
- (6) 団体の定款又は会則

※①申請書についての注意事項

A：代表者はお1人のみです。代表者印は上の記入例のような印又は代表者の私印とし、団体名称のみの印（例：「～会之印」）は不可です。

また、以後の提出書類や請求書等の印鑑は、すべて同一の代表者印でお願いします。

B：補助要望額は、「収支予算見込書（別紙2）」の「補助要望額F」と一致します。

「3添付書類」の(3)～(5)は、団体の様式で可。

②事業計画書の記入例

那覇市地域福祉基金補助事業計画書

団体の概要	団体名	那覇〇〇〇〇会				
	所在地・連絡先	〒〇〇〇-〇〇〇〇	電話	〇〇〇-〇〇〇〇		
		那覇市〇〇 〇-〇-〇 〇〇ビル〇〇号 (事務担当 真和志 太郎)				
	代表者氏名	会長 那覇 太郎				
	設立年月日	平成12年4月1日	会員数	45人	職員数	2人
	活動内容	1. 当団体は那覇市民の福祉向上のため 2. 3.				
直近3年間に 受けた補助金	・ あけもどろ福祉基金(公益信託)、「令和元年度〇〇〇事業」 ・ 那覇市 NPO 活動支援基金(公益信託)、「令和3年度△△事業」					
補助金交付を申請する事業	事業名	福祉ボランティア養成事業				
	事業の種類	那覇市地域福祉基金事業補助金要綱第3条第1項第(3)号)				
	事業期間	令和6年 7月 15日～令和7年 2月 28日				
	事業の目的 及び内容	1. 福祉ボランティアの技能向上を 2. 3.				
	事業の実施体制	広報担当1名、事務担当2名(兼務)の計3名で実施				
	期待される 市民への効果	1. 会員のみならず、広く市民に 2. 3.				
	他の助成の有無	・ 公的助成 (有) (無) ・ 民間助成 (有) (無) 〇〇生命助成金5万円				
	経費及び内訳	別紙2 「那覇市地域福祉基金事業補助金交付事業収支予算見込書」のとおり				

(記入の際の注意事項)

注1：事業毎に事業計画書を作成してください。

注2：団体の活動内容を補足する資料があれば添付してください。

注3：「直近3年間に受けた補助金」は、令和元年度～令和3年度に受けた補助金の名称・交付者・実施事業名を記入してください。

注4：「事業の種類」は、交付要綱第3条の中から該当する事業種類を選んで記入してください。

注5：「事業の実施体制」は、申請事業を実施する場合の人員体制を記入してください。

注6：「他の助成の有無」は、申請事業に関する助成についてご記入ください。

注7：当該事業の説明を補足する資料(チラシや見積書等)を添付してください。

③収支予算書の記入例

別紙2 (第1号様式添付書類)

那覇市地域福祉基金補助事業収支予算書

事業名	福祉ボランティア養成事業
------------	---------------------

補助金 所要額 算出表	補助事業に要する 経費の合計額「A」	補助対象経費の合計額「B」	事業実施に伴う 会費等の収入額「C」
	A 550,000 円	B 541,000 円	C 30,000 円
	団体自己負担金「D」	差引額「E」 (=「B」-「C」-「D」)	補助申請額 F (50万円以下)
	D 11,000 円	E 500,000 円	F 500,000 円

	項 目	予算額 (円)	内 訳
収 入	会費等の収入「C」	G 30,000	参加費(教材費)1人600円×50名
	団体自己負担金	H 20,000	うち補助金対象外経費「G」9,000円
	地域福祉基金事業補助金 「F」	I 500,000	
	収入計	J 550,000	

	項 目	予算額 (円)	内 訳
支 出	謝礼金 (講師謝礼金)	74,000	講師2人(県外教授1人、県内福祉士2人…) ・教授1時間8,000円×2時間×1回 ・福祉士1時間3,000円×2時間×3回…
	旅費	130,410	・教授(航空賃(関空⇄那覇)60,000円 日当、宿泊料、電車賃…) ・福祉士(往復バス賃760円×3回)
	消耗品費	54,000	筆記用具、印刷用紙(A4・400枚)…
	印刷製本費	105,510	テキスト70冊60,000円、パンフレット…
	通信運搬費	64,080	案内用ハガキ50円×60枚、電話料金…
	筆耕翻訳料	50,000	手話通訳(2時間×6回)…
	使用料	63,000	会場(〇〇センター)3時間×6回…
		補助対象経費合計=「B」	B 541,000
	補助対象経費以外の経費合計 「G」	O 9,000	懇親会費用
	支出計=「A」	P 550,000	(補助対象経費合計)+(補助対象経費以外の経費合計)

注1 事業毎に予算書を作成してください。上記に入らない場合は、別紙に記入してもかまいません。

注2 「会費等の収入」欄の内訳には、事業実施に伴う寄附金、会費等の収入の内訳を記入してください。

注3 支出の項目欄には那覇市地域福祉基金事業補助金交付要綱別表の各項目(講師謝礼金、消耗品費等)毎に記入し、内訳の欄には項目毎の予算額の積算根拠、数量等を詳しく記入してください。

※③収支予算書の注意事項について（3ページの **A** ～ **P** について）

A：事業実施にかかるすべての経費の合計額をご記入ください。

B：「**A**」の額の内、補助対象経費（下記Kを参照）の合計額をご記入ください。

C：事業実施に伴って集める会費（教材費等）や寄附金・入場料があれば、それらの合計額のうち**補助対象経費に充てる金額**をご記入ください（寄附金等がない場合は0円）。

D：団体自己負担金のうち、**補助対象経費に充てる金額**をご記入ください。

E：「**B**」の額から「**C**」「**D**」の額を差し引いた額（「**B**」－「**C**」－「**D**」）をご記入ください。

F：「**E**」の額以内で、補助金申請額をご記入ください。

G：事業実施に伴って集める会費（教材費等）や寄附金、入場料があれば、それらの合計額をご記入ください。

H：団体自己負担金の合計額をご記入ください（補助対象経費・補助対象外経費両方）。

I：「**F**」（補助金申請額）をご記入ください。

J：収入合計（「**G**」＋「**H**」＋「**I**」）＝「**A**」（事業実施にかかるすべての経費合計額）となります。

K：下記の補助対象経費項目毎にご記入ください。

補助対象経費	
1	謝礼金（講師謝礼金、委員謝礼金） 外部講師については時給1万円、内部講師については時給3千円を限度額とする。
2	報償費
3	旅費（費用弁償、普通旅費） 合理的経路を用いて要する公共交通機関等交通費の実費相当額。
4	需用費（消耗品費、燃料費、食糧費、印刷製本費、食材費、原材料費） 食糧費については1人あたり飲料代200円、食事代600円以内とし、懇親会に対する費用は対象外とする。
5	役務費（通信運搬費、広告料、手数料、筆耕翻訳料）
6	委託料
7	使用料及び賃借料（家賃を除く。）
8	備品購入費 事業実施に必要な不可欠な消耗品以外の物品購入費用。
9	その他経費（上記以外に地域福祉基金補助事業の趣旨に沿うもので市長が特に必要と認めるもの）

L：各経費の項目毎の予算額をご記入ください。

M：**L**（予算額）の内訳を詳しくご記入ください。

○：「G」補助対象経費以外の経費（事業にかかる経費がすべて補助対象経費の場合は、0円。）

P：「B」＋「G」（事業実施にかかるすべての経費合計額）＝「A」（支出計）となります。